

第2学年1・2組女子 保健体育科学習指導案

指導者 教 諭 草 野 千 春 (T1)
非常勤講師 堀 家 和 宜 (T2)

1 題 材 武道（合気道）

2 題材について

- (1) 武道は、我が国固有の文化として伝統的な行動の仕方が重視されており、相手の動きに応じた攻防によって競い合うことをねらいとした運動である。合気道の技能の体系や試合形式がない稽古法、相手の人格を認め合うこと、礼儀作法など、人間形成の面からも非常に効果的な教材の一つである。安全面から技を覚えるにあたり、受け身の基礎基本が重要視される運動である。また、次期学習指導要領には、これまでの柔道、剣道及び相撲に加え、合気道についても履修できること、と新たに明記された。なお、本校では地域連携の関係から平成24年度から実施している。全国で、武道の授業として合気道を取り入れている学校は約40校あり、香川県の中学校では本校が唯一合気道を実施している。
- (2) 本学級の生徒は、女子27名で構成されており、運動の得意な生徒も苦手な生徒も意欲的に学ぼうとする態度が見られる。1年次にも合気道を行っており、初めての武道に不安を抱いている生徒も見受けられたが、昨年度の授業後のアンケートでは、「武道の授業への意欲が高まった（73%）」「技能が向上した（89%）」「マナーが向上した（89%）」という結果であった。また、自由記述では、「礼儀が身についた」「技ができておもしろかった」「専門の先生に教えてもらえてよかった」という肯定的な意見が多数あった。昨年度の授業から1年が経ち、礼法や基本的な合気道の動き方を忘れている生徒も多い。そのため、礼儀作法や基本的な技の復習をしながら発展的な技にも挑戦させたい。
- (3) 合気道の特性や生徒の実態を踏まえた上で、次の点に留意して指導したい。
 - ・毎時間の流れを提示し、見通しをもって学習に取り組ませる。
 - ・立ち位置や活動場所を配慮し、安全に行えるように場の工夫をする。
 - ・体格や運動能力を考慮しお互いを認め合い、尊重しながら武道の本質に触れさせる。
 - ・事前に「取り」と「受け」がどちらであることを確認させ、それぞれの課題を解決しながら取り組めるように工夫する。

3 題材の目標

- (1) 技ができる楽しさや喜びを味わいながら、基本動作ができるようになるとともに、相手の動きに応じた基本となる技を習得させる。
- (2) 合気道に積極的に取り組むとともに、武道の特性や文化を学び、礼法や相手を尊重する態度を身につけさせる。

4 学習指導計画（6時間）

- | | | | |
|-----------------------|----|-----|---------|
| (1) オリエンテーション、基本動作の復習 | …… | 1時間 | |
| (2) 対人的技能の実践練習 | …… | 3時間 | (本時3／3) |
| (3) まとめ、グループ演武 | …… | 1時間 | |

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ・技のポイントを理解し、逆半身片手取り四方投げを行うことができる。
- ・ペアやクラスで息を合わせて演武に取り組むことができる。

(2) 準備物

- ・柔道着
- ・学習カード
- ・ホワイトボード
- ・テレビ
- ・DVD

(3) 学習指導過程

学習内容及び活動	教師の支援及び指導上の留意点
1 整列，挨拶，点呼を行う。	・道着の着方や正座の姿勢を確認する。 ・正しい礼法で挨拶させる。
2 準備運動を行う。	・ストレッチ体操 ・後ろ受け身 ・膝行
3 本時の学習課題を知る。	◆本時の学習の流れを提示し，学習に対する見通しをもたせる。 ◆安全かつ効率的に取り組めるように，ビニールテープで立ち位置を示す。 ・特に頸部と手首から肩関節にかけて，入念に準備運動をさせる。 ・受け身では，頭を打たないように視線は帯を見るようにし，顎を引くように繰り返し注意を促す。
逆半身片手取り四方投げをマスターしよう	
4 逆半身片手取り四方投げのキーワードを聞き，想像して技をかけてみる。 2人組→4人組→全体で共有	◆キーワードをホワイトボードに提示する。 ・無理な体勢になってけがをしないように巡視する。
5 逆半身片手取り四方投げの模範演技を見る。	・技のポイントを押さえながら，手本を見せる。 ◆技の確認ができるように分解図をホワイトボードに貼る。 ・「受け」は膝をついて受け身を取り，しっかりと畳を叩くよう指示する。
6 逆半身片手取り四方投げを行う。 一斉→個人→一斉	・ケガを防止するために，4つのポイントを押さえておく。 ・多くの相手と稽古を行い，動きを確認させる。 ・基本的な技能でつまづいている生徒には，ポイントを押さえ，個別にアドバイスをする。 ◆技の確認がすぐにできるように，技の映像を流しておく。
7 演武を行う。	評 技のポイントを理解して演武できているか。 ・演武を見ることも稽古であることを理解させ，見る時の姿勢と態度に気を付けさせる。 ・演武後は，拍手を送るよう指導する。
8 本時の学習を振り返る。	評 学習カードの項目ごとに3段階で自己評価をさせる。
9 整列，挨拶をする。	・ケガの有無を確認する。 ・正しい礼法で挨拶をさせる。

